

キャラクター名
ガーヴァリーチ・パラール

プレイヤー名

種族	ラルヴァ	種族特徴	暗視、弱体化、吸血の祝福、忌むべき血		
生まれ	拳闘士	性別	男…?	年齢	不詳
冒険者Lv	11	経歴	複数の愛人や恋人がいる (いた)		
経験点	0		ひとりだと不安を感じる 闘いのチャンスは逃さない		

技	11	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
		器用度	2	8		21 + 2	3
体	9	敏捷度	5	9		25	4
		筋力	16	12		37 + 2	6
心	11	生命力	3	1		13	2
		知力	8	5		24	4
		精神力	4	4		19	3

技能	Lv.	技能	Lv.
グラップラー	11		
フェアリーティマー	1		
スカウト	7		
エンハンサー	6		
アルケミスト	3		

追加攻撃	220 p	テイルスイング	IB37 p
投げ攻撃	225 p		
カウンター	2120p		
鎧貫き	IB39 p		
トレジャーハント	2120p		
ファストアクション	2123 p		
武器習熟A/格闘	IB31 p		
投げ強化	IB30 p		
踏みつけ	IB31 p		
武器習熟S/格闘	IB31 p		
飛び蹴り	IB38 p		

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
魔動機文明語	○	○
妖精語	○	

マッスルベアー		
キャッツアイ		
ガゼルフット		
ドラゴンテイル		
ジャイアントアーム		
デーモンフィンガー		
ヴォーパルウェポン		
クリティカルレイ		
パラライズミスト		

技能	基本	基本	基本	基本追加
	レベル	命中力	回避力	ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	11	14	15	17
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾	必要	ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	アラミドコート		10	1	2
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能	グラップラー	合計値	16	3	

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
イージーグリップ+1	2H	0	3	2d+ 18	12	21	30											
魔法の武器 投げ 3部位までなら投げ攻撃可能 ランク効果: 投げの命中+1																		
アクセルブローグ	1H#	10		2d+ 15	10	20	20											
牙	2H#	1		2d+ 14	9	20	11											
<吸血の祝福>による獲得																		
				2d+														
				2d+														
				2d+														
				2d+														

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	30 m	90 m

回避	防護点
2d+ 16	3

HP
48

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
妖精魔法	1	5			

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 0/X	2d+ 11

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 13	2d+ 14

MP
24

装備品	説明
頭	
耳	
顔	
首	熊王の爪
背中	サーマルマント
右手	宗匠の腕輪
腰	ブラックベルト
足	韋駄天ブーツ
その他	小熊の爪

装備品	説明
左手	怪力の腕輪

その他メモ	自動失敗
「弱い者は独りに成り…そして殺される。成程、僕は独りに成りたくはない」 「—どうだ、僕こそが強者だ。弱いお前は独りだ、僕は強い。こんなにモナカマがいる」	チェック
やつれた白髪を靡かせ、貼り付けたような笑みを浮かべたラルヴァ。気持ち悪いとは専らの評判。それでも、彼は名譽人族だ。闘いに明け暮れて、手に入れた地位だ。彼は、それに誇りを持っている。彼の周りには、彼の強さを目的にやって来た女性が居る。所謂愛人と言うもので、一人や二人ではない。ただ、それも自身が孤独である事を恐れる為に作り上げたもの。決して、正しい意味で愛してはいない。	□□□□⑤
その根幹は— 幼少期、目の前で母親が、父親のノスフェラトゥに殺害された事に起因するもの。何の力も持たぬ、人間だった母が驕り殺しにされた。父は言った、弱き者は須らくして死ぬべし、と。	□□□□⑩
父は、幼かった彼を殺さずに何処かへ去って行った。殺し殺され以前に、興味すら持たれなかったのだ。	□□□□⑮
	□□□□⑳
	□□□□㉑
	□□□□㉒
	□□□□㉓
	□□□□㉔
	□□□□㉕

